

中学部 合同生活単元学習 学習指導案

日 時：平成29年11月15日(水) 10:30～12:10

場 所：多目的室1, 中1・中2教室

生 徒：男子5人, 女子6人, 計11人

指導者：〇〇〇〇 T1, 〇〇〇〇 T2, 〇〇〇〇 T3,
〇〇〇〇 T4

1 単元名 「茶房さくらや」を開こう3 ～外町交流広場での開店に向けて～

2 単元の目標

- (1) お客さまに喜んでもらうアイデアを出し合い、おもてなししようとする。
- (2) 茶房さくらやの一員としての自覚をもち、友達と関わりながら自分の役割を果たす。

3 生徒と単元

(1) 生徒について

本学習グループは、1年生3名、2年生4名、3年生4名の計11名（男子5名、女子6名）からなる。少人数ではあるが、合同での学習活動も多く、自分から友達に働き掛けたり、友達の働き掛けを受け入れたりすることができる、明るく素直な生徒たちである。一方、新しい場面での活動や初対面の方との関わりでは、自信がもてずに自分の力を発揮できなかつたり、緊張して自分から働き掛けることができなかつたり、経験不足が考えられる。

「茶房さくらや」を開こう1では、学校玄関前で保護者や校内の職員など、身近な人を対象に3回開店した。宣伝、受付、準備、接客の4つの係を設定し、経験のある2、3年生が1年生に方法や手順を伝え、おもてなしを行った。「茶房さくらや」を開こう2では、その経験を生かして地域の交流スペースである外町交流広場で地域の方や観光客を対象に3回開店した。接客する相手が身近な人から見知らぬ人へ変わったことで、緊張によりお客様に話し掛けることをためらったり、お客様からの問い掛けに対して声が小さくなったり、言葉に詰まったりするなどの姿が見られた。2、3年生が中心となって友達に言葉を掛けたり、友達の活動を手伝って一緒に行ったりする中で、それぞれが自分の役割に慣れ、お客様に声を掛けたり、案内をしたり、カードやちらしを渡したりと、緊張しながらも役割を果たそうとする生徒の姿が増えてきた。

(2) 単元について

「茶房さくらや」を開こうは、地域に出掛けてお客さまへお茶とお菓子でおもてなしをする活動であり、1期（6～7月）、2期（9月～10月）、3期（10～11月）と通年に渡る学習活動である。本単元では、身近な人から地域の方や観光客など、様々な人と段階的に関わり、対人関係の幅を広げることが期待できる。開店に向けての準備や振り返りの学習では、友達と一緒に準備をしたり考えたりと、友達との関わりを多くもつことができる。また、4つの係を設定することで、お菓子やお茶出し、宣伝や説明、ちらしやカード配りなど、幅広い活動から生徒の実態やねらい、興味、関心に応じた役割設定が可能となる。普段、自分から関わるのが難しい生徒でも友達や物を介してお客様と関わり、自分の役割を果たすことができるのではないかと考える。

3期は外町交流広場で地域の方や観光客の方を対象に4回開店する。本単元では、お客様に喜んでもらうアイデアを出し合う活動や係同士が必然的に協力する場面を設定し、生徒の意欲や主体性、協同性を引き出したい。自分たちでアイデアを出し合うことには、自分たちの考えた方法で行うという喜びを感じたり、お客様や他の係の立場に立って考えたりできる良さがある。また、係同士の協力の場面では、お客さまに喜んでもらうためには、係内だけでなく、係同士が協力することが大切であることに気付き、自分から他の係にも働き掛けたり、働き掛けを受け入れたり、責任をもって役割を果たそうとすることができるのではないかと考える。また、その中で、他を思いやったり、感謝したりする気持ちをもち、一体となって準備、開店、振り返りの活動を繰り返すことで、茶房さくらやの一員としての自覚が芽生え、自信をもって人と関わり、自分の役割を果たすことができるのではないかと考え、本単元を設定した。

(3) 指導について

- 生徒一人一人が友達やお客様と関わりながら自分の役割を果たすことができるよう、以下のことに留意する。
- ・生徒がおもてなし活動に期待感をもつことができるように、「お客様に喜んでもらう方法」についてアイデアを出し合う場面を設定し、係活動に取り入れる。
 - ・おもてなしで明るく活気のある雰囲気を作ったり、各係が協力して役割を果たしたりすることができるよ

う、教師同士も声を掛け合い、模範を示す。また、生徒同士が「お願いします」「分かりました」「はい」などの言葉や返事を交わし合う場面を多く設定する。

- ・生徒同士が関わり、自分で考えて活動できるよう、気付きを促すような支援や見守る姿勢に心掛け、生徒のねらいや実態に合ったコミュニケーションのツールとなるタブレットやカード、原稿等を用意する。

4 指導計画（総時数35時間）

主な学習活動		時数	主な目標
オリエンテーション		1時間	・3期のめあてや係分担、学習予定を知る。
開店に向けた話し合い		2時間	・お客様に喜んでもらうアイデアを全体で出し合う。 ・お客様に喜んでもらうアイデアの中からお客様に喜んでもらう方法を係で話し合って選択する。
練習・準備	※4回繰り返す	2時間×4 (本時5, 6時/8) ※3回目の開店に向けての練習・準備	・係で話し合って目標を立てる。 ・練習を通して、自分の役割が分かる。 ・友達と一緒に開店に必要な物を準備する。
開店		3時間×4 (12時間)	・係のおもてなしの方法が分かり、友達と協力しておもてなしをする。 ・係同士で協力しておもてなしをする。
振り返り		2時間×4 (8時間)	・目標についてVTRなどを参考にして振り返り、良い点や課題を見付ける。 ・係で目標の反省を行い、良い点や課題を見付ける。 ・係の課題について解決策を出し合う。 ・係ごとの発表を聞き、内容を共有する。
まとめ		4時間	・これまでの学習を振り返り、自分や友達の成長や変化、がんばりを認め合う。

5 本時の計画（35時間中の18～19時）

(1) 本時の目標

- ・友達と協力するための方法が分かり、おもてなしの練習をする。

(2) 生徒の実態及び目標と手立て

	生徒	本時に関わる生徒の実態	本時の目標	手立て
宣伝係	A 1年 (男)	・のぼりの組み立ての手順を覚えてきているが、教師の支援が必要な部分もある。	・教師からの指差しや言葉掛けを受けて、のぼりを組み立てる。	・のぼりの棒に目印を付けたり、指差しや言葉掛けを行う。
	B 3年 (男)	・話し合いが進まないと一人で結論を出そうとしたり、相手の話を受け入れられなかったりする。	・Cに相談しながら宣伝係の役割や宣伝の方法を決める。	・二人で相談して宣伝の役割や方法を決めることができるよう、学習シートで選択項目を設ける。
	C 3年 (男)	・Bの相談に乗って意見を述べたり、アドバイスをしたりしている。	・Bの相談に乗りながら宣伝係の役割や宣伝の方法を一緒に決める。	・Bの問いに答えることができるように、学習シートの問いに選択肢を設ける。
受付係	D 2年 (女)	・選択肢を参考にして考え発表したり、気付いたことを友達やお客様に伝えたりできるようになってきた。	・他の係との協力の仕方を考え、お客様や友達に声を掛ける。	・自分の意見をまとめることができるよう、具体的な場面をヒントとして提示する。
	E 2年 (女)	・自分から元気に挨拶したり、友達の言葉を手掛かりとしてお客様に両手で丁寧に鉛筆を渡したりしている。	・案内するタイミングが分かり、身振りを加えてお客様を受付へ案内する。	・案内するタイミングが分かりやすいよう、声を掛けてくれる宣伝係の友達の顔写真を用意する。
	F 3年 (女)	・小さい声ではあるが、簡単な言葉を添えてカードをお客様に渡すようになってきた。	・新しく加わった役割が分かり、接客係の友達に「〇〇さん」と呼び掛ける。	・自分の役割や手順が分かりやすいよう、手順カードを提示したり、演示したりする。

準備係	G 1年 (男)	・Hの言葉掛けを受けて、一緒に活動できるようになってきている。	・Kの言葉掛けを受けて、お客様のところに行ってお茶のおかわりを入れる。	・お茶のおかわりを安心して入れることができるよう、手順カードを提示し、Kと一緒に行動する場面を設定する。
	H 2年 (女)	・写真カードを手掛かりにして、必要な道具を準備したり、お盆の上にお茶やお菓子を並べたりすることができる。	・接客係の言葉掛けを受けて、お菓子の説明に行けるかどうかを自分で判断してお菓子の説明をする。	・お菓子の説明に行けるかどうか自分で判断できるよう、写真やイラスト入りの「チェックカード」を提示する。
接客係	I 1年 (女)	・上級生から言葉掛けや合図を受けることで安心して接客や準備、片付けを行っている。	・上級生の言葉掛けを受けて一人で接客をしたり、下膳やテーブル拭きをしたりする。	・接客の活動に安心して取り組めるよう、KやJから言葉を掛ける場面を設定し、一人で活動することができるようにする。
	J 2年 (女)	・準備や接客場面で、教師から促しを受けて、Iに声を掛け、一緒に活動している。	・Iに言葉を掛けて活動を促したり、相談に乗ったりする。	・準備と片付け、下膳とテーブル拭きの場面でIに言葉を掛けることができるように、「役割カード」を提示する。
	K 3年 (男)	・下級生に気を配って指示を出しながら接客を行っている。	・お茶のおかわりをGに依頼し、Gがお茶を注ぐことができるように 席まで誘導する。	・活動に見通しがもてるよう、お茶のおかわりの確認からGを客席に誘導するまでの手順をまとめたカードを提示する。

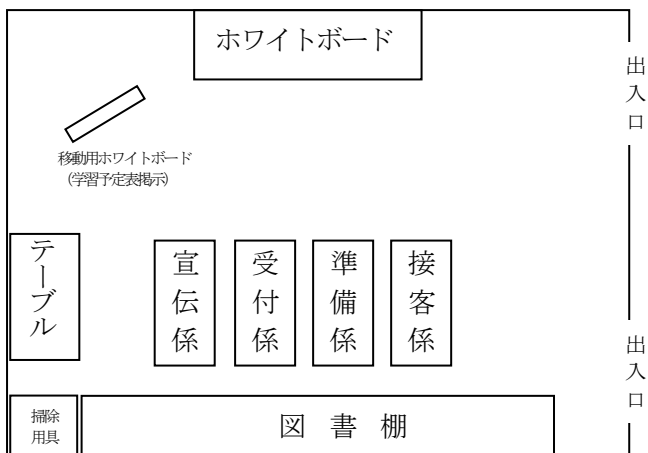
(3) 展開

時間	学習活動	指導の手立て及び留意点
15分	<p>1 本時の活動内容とめあてを知る。</p> <p>(1) 活動内容を知る。</p> <p>(2) めあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><めあて> お客様に喜んでもらうために、協力して案内やおもてなしをしよう。</p> </div> <p>・協力して案内の練習をすることを 知る。 (宣伝係、受付係、接客係)</p> <p>・協力しておもてなしの練習をすることを 知る。 (準備係、接客係)</p> <p>(3) 合言葉を話す。</p>	<p>・生徒が主体的に活動できるよう、進行の一部と合言葉の発声をリーダーの役割にする。</p> <p>・見通しをもって活動できるよう、活動内容を掲示する。</p> <p>・生徒が意欲をもって活動できるよう、前時の振り返りで出し合った改善点を生かし、係同士で協力してお客様を案内する場面と、お茶のおかわりやお菓子の説明など、おもてなしの場면을練習できるようにする。</p> <p>・係同士で協力して案内する方法やおもてなしの方法が分かるよう、教師が演示をとおして伝える。</p> <p>・各係の練習内容が明確に分かるように、写真と文字カードを組み合わせてホワイトボードに掲示し、視覚的な支援を行う。また、全体活動で掲示した、めあて達成につながるキーワードは、係の練習時に取り外して活用できるように、文字カードにする。※(7)板書計画参照</p> <p>・活動に見通しや期待感をもつことができるよう、係練習の成果を全体練習の場で3回お客様を設定しておもてなしをすることを伝える。</p> <p>・明るく活気のある雰囲気の中で活動を展開できるよう、みんなで合言葉を話す場面を設定する。</p> <p>合言葉：「つなげよう笑顔！ つなげよう挨拶！ つなげよう言葉！」</p>
30分	<p>2 係で練習をする。</p> <p>(1) 係の目標を立てる。</p> <p>(2) 練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習内容や役割、協力方法を確認する。 ・友達と協力して練習する。 	<p>・係の目標を意識して活動することができるよう、係の友達と相談する場面を設定する。また、学習シートを準備して目標を記入できるようにする。</p> <p>・友達と協力するためには、いつ、だれにどんな方法で協力するかを生徒の実態に合わせて、言葉、身振り、演示、文字、写真、イラストなどを用いて具体的に伝える。</p> <p>・生徒が達成感や自信をもつことができるよう、達成の基準を言葉や文字に起こして具体的に伝える。</p>

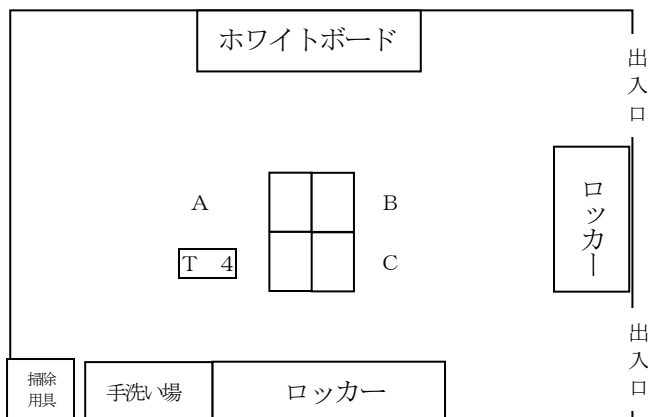
	<p><宣伝係> 中学部1教室</p> <p>(1) 係の目標を立てる。</p> <p>(2) 宣伝仕方と役割を決める。</p> <p>(3) 宣伝練習をする。</p> <p style="text-align: right;">T 4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Aが一人でのぼりの組み立てを行うことができるよう、指差しや言葉掛けを行ったり、組み立ての一部を支援したりするなど、必要最小限の支援を行い活動を見守る。 ・二人で宣伝の方法を相談して決めることができるよう、学習シートの問いに選択項目を設ける。 						
	<p><受付係> 中学部2教室</p> <p>(1) 係の目標を立てる。</p> <p>(2) 受付の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名前の記入依頼 ・ありがとうカード説明 ・メッセージ記入依頼 <p style="text-align: right;">T 2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・D, Fが他の係と協力する仕方や役割を考えて練習することができるよう、宣伝係から準備係へ、準備係から接客係へと言葉で伝える具体的な場面をヒントとして提示する。 ・Fが自分の役割に一人で取り組むことができるよう、D, Fが手順カードを提示する。また、演示をとおして接客係の友達へ呼び掛けるタイミングや呼び掛け方を伝える。 ・Eが案内するタイミングが分かりやすいよう、声を掛けてくれる宣伝係の友達の写真を用意し、「誰が」「何を話す」を伝えて練習する。 						
	<p><準備・接客係> 多目的室1</p> <p>(1) 係の目標を立てる。</p> <p>(2) 練習の準備をする。</p> <p>(3) 役割を確認する。</p> <p>(4) お菓子の説明とお茶のおかわり場面の練習をする。</p> <p style="text-align: right;">T 1, T 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Kが練習を進行できるように、活動の手順を書いた「進行カード」を提示する。 ・Kが練習に必要なものを指示することができるよう、会場図や準備物リストを渡す。 ・Hが接客係からの声掛けがあったときに、判断できるようなポイントを写真やイラスト入りの「チェックカード」で示す。 ・Kが自分で判断して、お茶のおかわりをお客様に確認することができるよう、定期的に周回してお茶の減り具合を確認するように伝える。 ・Gがお客様のところに行って安心してお茶のおかわりを入れることができるよう、Kと一緒にいき、立ち位置や入れるタイミングの取り方など声を掛けてもらえるようにする。 ・Jが自分で判断してIに言葉を掛けながら活動することができるよう、準備や片付けなど、ペアになって活動する場面を設定する。 ・Iが接客の活動に安心して一人で取り組めるよう、KとJにIに活動を促す言葉を掛ける役割を設定する。 						
40分	<p>3 全体で練習をする。</p> <p>(1) 練習の内容を確認する。</p> <p>(2) 練習の準備をする。</p> <p>(3) 練習をする。(3回)</p> <p>1回目：客1人</p> <p>2回目：客2人</p> <p>3回目：客3人</p> <p>(4) 練習の評価を受ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士が関わりながら協力して準備や片付けができるよう、気付きを促す支援や見守る姿勢に心掛ける。 ・全体練習の場面で改善を図ることができるよう、練習を3回設定する。 ・実際の開店場面をイメージして練習できるように、客を設定し、客数を回数毎に増やす。 ・生徒がめあての達成を実感できるよう、お客様役の職員同士で話し合い、丸と三角の形で回数毎に評価する。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>1回目</th> <th>2回目</th> <th>3回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">△</td> <td style="text-align: center;">◎</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1回目	2回目	3回目	△	◎	
1回目	2回目	3回目						
△	◎							
10分	<p>4 活動を振り返る。</p> <p>(1) 活動を振り返る。</p> <p>(2) 開店に向けての目標を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が開店みに向けて意欲が高まるよう、T 1からT 2, T 3, T 4に係の練習場面で協力できたことの紹介を働き掛け、生徒の頑張りを発表する。 ・お客様に喜んでもらうために大切なことについて、生徒から意見を引き出すことができるよう、穴埋めカードを提示して発問する。 ※カード：お客様に喜んでもらうためには、「 」することが大切です。 ・開店へ向けて、各係の目標を共有できる場面を設定し、一体感や期待感をもつことができるようにする。 						
5分	<p>5 次時の活動内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の活動が分かるように、教師と一緒に予定表で日程を確認する。 						

(4) 配置図

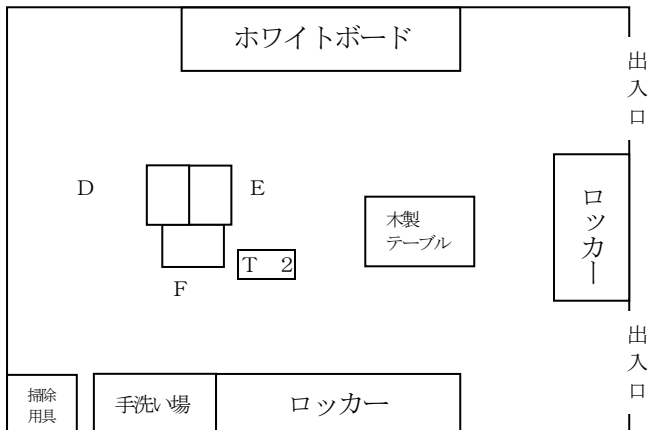
始め・終わりの活動 (多目的室1)



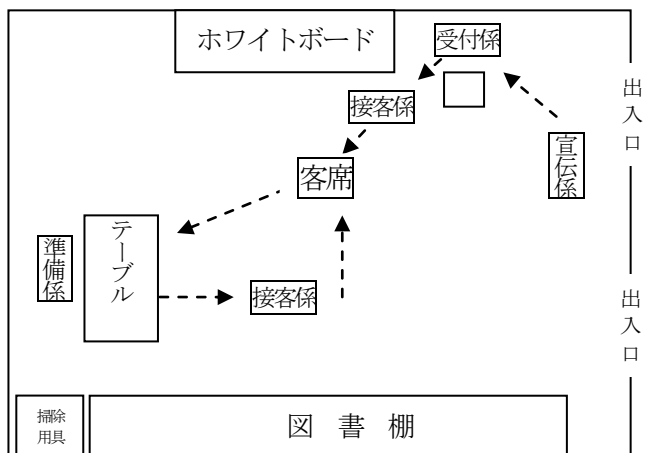
宣伝係 (中学部1)



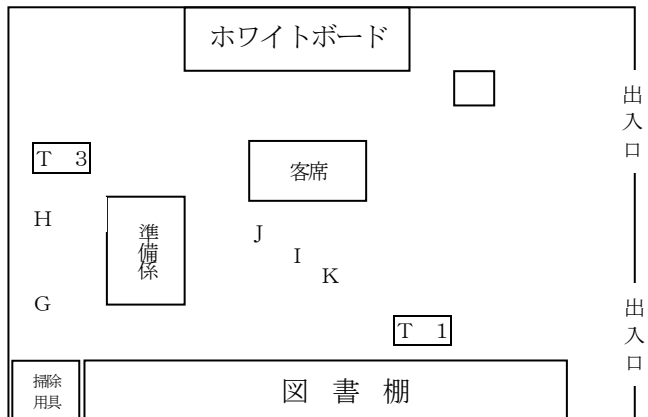
受付係 (中学部2)



全体練習の活動 (多目的室1)



準備係, 接客係 (多目的室1)



(5) 準備物

- <宣伝係> ちらし, iPad, のぼり
- <受付係> 木製テーブル, 受付表示プレート, 受付用紙, バインダー, 鉛筆, メッセージカード, ペン, メッセージボード, イーゼル, プレゼント, ありがとうカード, CDラジカセ, 手順カード
- <準備係> お盆, 湯飲み茶碗, 菓子皿, お菓子, お茶入りポット, 急須, 食器入れのかご, エプロン, バンダナ, 布巾, 洗剤, スポンジ, 木製テーブル
- <接客係> エプロン, バンダナ, 付箋, テーブル用シール
- <その他> ワイヤレスアンプ, 移動用ホワイトボード, テーブル

(6) 評価の観点

- 生徒 ・自分から友達に働き掛けたり, 受け入れたりしておもてなしの練習ができたか。
- 教師 ・生徒同士が協力する具体的な場面を設定することができたか。